

令和4年度冬季全国大会要項

第2版

1. 大会概要

名 称	第51回全日本学生将棋十傑戦（学生王将戦） 第43回全日本学生将棋女流名人戦 第53回全日本学生将棋団体対抗戦（学生王座戦）
主 催	全日本学生将棋連盟
後 援	朝日新聞社・日本将棋連盟
協 力	日本アマチュア将棋連盟
日 程	2022年12月24日（土）～12月28日（水） 24・25日に学生王将戦及び女流名人戦を行い、26～28日に学生王座戦を行う。
会 場	四日市商工会議所会館 http://www.yokkaichi-cci.or.jp/access/ 学生王将戦・女流名人戦…会議所ホールⅡ 学生王座戦 …会議所ホール

※例年（文化会館）とは会場が異なりますのでご注意ください。

2. タイムテーブル

○12月24日（学生王将戦、女流名人戦）

9:30 選手集合（9:00開場）

9:35 組み合わせ抽選

9:45 開会式

10:00 予選1回戦対局開始（ここまで学生王将戦、女流名人戦共通）

学生王将戦

女流名人戦

13:00 予選2回戦対局開始

12:30 予選2回戦対局開始

15:00 予選3回戦対局開始

14:00 予選3回戦対局開始

15:30 予選4回戦対局開始

○12月25日（学生王将戦、女流名人戦）

9:30 選手集合

9:40 準々決勝（女流名人戦9、10位決定トーナメント含む）対局開始
女流名人戦9、10位トーナメントは順次手合いをつけ進行する。

12:40 準決勝対局開始

14:40 決勝戦対局開始
17:10 表彰式
17:40 解散（理事：会場の配置転換）

○12月26日（学生王座戦）

9:30 選手集合
9:45 1回戦オーダー提出
9:50 開会式
10:10 1回戦対局開始
13:00 2回戦対局開始（以降、オーダー提出は対局開始の10分前とする。時間厳守。）
15:10 3回戦対局開始

○12月27日（学生王座戦）

9:40 4回戦対局開始（9:30 オーダー提出）
12:40 5回戦対局開始
14:40 6回戦対局開始

○12月28日（学生王座戦）

9:40 7回戦対局開始
12:40 8回戦対局開始
14:40 9回戦対局開始
17:00 表彰式・閉会式
17:30 解散

※当日の進行により時間が前後する場合があります。

3. 代表選手・代表大学

【学生王将戦】（16名）

北海道地区	笠井優輝（北海道大学・1年）
東北地区	小野史瑠（山形大学・1年）
関東地区	伊東恒紀（東京理科大学・4年）、天野倉優臣（東京大学・4年）、 石野熙（慶應義塾大学・1年）、永田麟太郎（関東学院大学・3年）
北信越地区	齋藤福実（新潟大学・3年）
中部地区	眞田アクバル（愛知大学・3年）、林昂平（静岡大学・3年）
関西地区	遠藤寛也（関西大学・3年）、生川康太郎（京都大学・4年）、 佐々木白馬（立命館大学・3年）
中四国地区	垣生蒼月（松山大学・1年）、山村泰楊（山口大学・1年）
九州地区	中嶋俊介（九州共立大学・1年）
招待選手	川島滉生（早稲田大学・2年）

【女流名人戦】(16名)

東北地区 松本咲重(山形大学・2年)

関東地区 宮澤紗希(中央大学・3年)、森美怜(神奈川大学・3年)
大城千花(国士舘大学・2年)

中部地区 木村野乃花(名古屋市立大学・4年)、森本理子(名古屋市立大学・1年)
大田暖乃(名城大学・1年)

関西地区 佐藤琴音(京都大学・3年)、立藤真佑子(同志社女子大学・2年)
山下葉夕(同志社女子大学・2年)、川上菜摘(大阪経済大学・2年)
上田可奈子(関西大学・2年)、卯野雅(大阪経済大学・1年)
志田歩未(京都大学・1年)、荒木結(龍谷大学・1年)

九州地区 大塚玲奈(西南学院大学・2年)

【学生王座戦】(10校)

北海道地区 北海道大学

東北地区 山形大学

関東地区 (第一代表) 早稲田大学・(第二代表) 東京大学

北信越地区 金沢大学

中部地区 静岡大学

関西地区 (第一代表) 立命館大学・(第二代表) 京都大学

中四国地区 山口大学

九州地区 九州大学

4. 大会形式

【学生王将戦】

<予選>

① 2勝通過、2敗失格とする。

② 抽選により16名をA・B・C・Dの4組に分ける。但し、一回戦で同一地区の選手は対戦しない。

③ 予選一回戦は、各組の1番と2番、3番と4番が対戦する。

④ 予選二回戦は、各組の勝者同士および敗者同士が対戦する。

⑤ 予選三回戦は、1勝1敗の8名によって行う。組み合わせは改めて抽選を行い決定する。

<決勝トーナメント>

① 本戦トーナメントは、予選通過者8名によって行う。

② 同様に9位・10位決定戦は、予選敗退者8名によって行う。

③ 組み合わせは予選終了後に抽選で決定する。但し、本戦トーナメントは予選2連勝者と2勝1敗通過者、9位・10位決定戦は予選2連敗者と1勝2敗敗退者が一回戦で当たるよう調整する。

④ 本戦トーナメントの優勝者が学生王将となる。同様の方法で2位から10位も決定する。

【女流名人戦】

<予選>

- ①スイス式トーナメント方式（4回戦）で行う。但し、一回戦で同じ大学の選手は対戦しない。
- ②成績上位者8名を通過とする。勝ち数が同じ場合はソルコフにより順位を決定する。

<本戦トーナメント>

- ①本戦トーナメントは、予選通過者8名によって行う。
- ②同様に9位・10位決定戦は、予選敗退者によって行う。
- ③本戦トーナメントの組み合わせは予選の結果に基づいて決定する。具体的にはトーナメント表の左から、予選の1位対8位・4位対5位・2位対7位・3位対6位という組み合わせとする。
- ④本戦トーナメントの優勝者が学生女流名人となる。同様の方法で2位から10位も決定する。

【学生王座戦】

- ①7人制の団体戦とし、代表校10校による総当たりリーグ方式（全9回戦）で行う。
- ②選手の登録人数は十四名以内とし、オーダー用紙に補欠選手を含めた大会出場予定の選手を全て書き入れ第一試合のオーダー交換で公開する。以後、登録選手の変更及び付け足しは認めない。
- ③試合は各チームの代表者が自チームの登録選手の中から七名を選出して行う。出場選手の選出は必ずオーダー交換以前に行われなければならない。また出場選手は必ず登録配列順序を守らなければならない。選手の呼称は大将、副将、三将以下数字将とする。
- ④対戦の順番は前回大会の各地区順位に基づき、通常のリーグ対戦法により行う。
関西①、関東①、関東②、関西②、東北、中部、中四国、九州、北信越、北海道の順。
- ⑤順位は勝点制に従って決定し、勝点・勝数がともに等しい場合は、前回の地区成績順位に従う。
なお、同一地区の二校で勝点・勝数がともに等しい場合は、秋季大会のA級優勝校を優先する。
- ⑥先後は大將席の振り駒によって決定する。以下、三将、五将、七将が大將と同じ、副将、四将、六将が大將と逆の先後を得る。

5. 対局規定

- ◆対局者は品位と礼儀を重んじ、見苦しい態度や相手をして不愉快たらしめる言動は慎み正々堂々と対局しなければならない。
- ◆全ての対局はチェスクロックを使用し、持ち時間はいずれも30分切れたら60秒で対局を行う。
- ◆同一局面が四回出現した場合は千日手とする。但し、連続王手の千日手は王手をかけている方が指し手を変えなければならない。
 - ・1度目の千日手が成立した場合、先後を入れ替えてすぐに指し直しとする。
 - ・千日手指し直し局の持ち時間は各対局者の残り時間とする。但し、片方または両方の対局者の持ち時間が10分未満の場合は、少ない方の持ち時間が10分になるよう双方追加する。但し、大会進行に大幅な遅れが生じている場合は、委員長が臨機に判断し追加する時間を変更する。
 - ・千日手指し直し局も千日手となった場合、学生王将戦及び女流名人戦は抽選で勝敗を決定し、学生王座戦は半勝半敗とする。但し、学生王将戦及び女流名人戦の準決勝以降の対局に限り、勝敗が決するまで指し直す。
- ◆持将棋は大駒を5点、小駒を1点として数え、以下で実施する。また、入玉宣言法も採用する。
なお、判定の時期は大会の進行状況を考慮して運営陣が協議の上決定し裁定を行う。

- ・学生王将戦及び女流名人戦 …27点法を採用し、同点の場合は後手勝ちとする。
- ・学生王座戦 …24点法を採用し、双方が条件を満たす場合は半勝半敗とする。
- ◆禁手を指した者はただちに投了しなければならない。又指した者がそれに気が付かない場合は、対戦者及び記録係又は観戦者がこれを示し、禁手を指した者は直ちに投了しなければならない。但し、対局観戦者のいずれもが対局終了までそれに気が付かなかった場合は、その禁手が試合中に指されたことが明らかにわかる場合を除いて、投了優先として禁手は無効とする。
- ◆着手は動かされた駒が手より離され盤の上に置かれた時とする。但し、駒を盤の上に落とすなどの事故はこの範囲ではない。
- ◆遅刻は10分で負けとする。10分未満の遅刻はその3倍を持ち時間から引いて対局を開始する。
- ◆対局者は対局中全ての電子機器の電源を切る。違反が発覚した場合は、罰則を課す場合がある。
- ◆観戦者の検討ソフトの使用は禁ずる。違反が発覚した場合は、罰則を課す場合がある。
- ◆オーダー表の提出期限は原則対局開始の10分前迄とする。2回の遅刻で次戦0-7負けとする。
- ◆座席の座り順や出場選手の誤りは、発覚次第、対局結果に関わらず当該大学を0-7負けとする。
- ◆その他支障が生じた場合は委員長の判断を最優先とする。指示に従わない者は参加資格を失う。
- ◆以上の規定の他は、日本将棋連盟の対局規定に従う。

6. その他注意事項

- ◆結果報告は迅速に行ってください。
- ◆学生王将戦・女流名人戦および学生王座戦の大將戦の対局において、対局者は対局終了後にアプリ等を用いて各自で棋譜を提出いただくことになります。詳細は当日お伝えいたします。

また、新型コロナウイルス感染予防・拡大防止のため、以下のことをよろしくお願いいたします。

- ◆大会前後の移動および大会期間中は、各自で感染対策を万全にとってください。
- ◆発熱や咳症状がみられるなど、体調がすぐれない方は参加を自粛ください。また、大会期間中に新型コロナウイルス感染が疑われる症状が出た場合は、速やかに運営陣にご連絡ください。
- ◆万が一大会終了後2週間以内に新型コロナウイルスへの感染が確認された場合は、各地区の代表を通じて運営陣にご連絡ください。
- ◆大会当日はマスクの着用・手洗い・手指消毒・検温へのご協力をお願いいたします。当日の検温において37.5℃以上の熱がある場合は、入場および対局を認めない場合があります。
- ◆ペットボトル等のゴミは持ち帰ってください。
- ◆対局の前後には、各自手指の消毒を行っていただきますようご協力ください。
- ◆飛沫感染防止のため感想戦はできるだけすぐに切り上げてください。
- ◆対局中は挨拶・投了以外の発声を極力避け、観戦中・待機中は大声での会話はご遠慮ください。また、マスク無しでの会話は厳禁とします。